

平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月31日

上場会社名 株式会社 ディーエムエス
 コード番号 9782 URL <http://www.dmsjp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部部長代理
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 山本 克彦
 (氏名) 橋本 竜毅

TEL 03-3293-2961

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	5,728	5.7	200	△9.4	203	△7.9	148	△4.2
29年3月期第1四半期	5,421	17.6	221	41.1	220	40.3	154	32.2

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 170百万円 (40.5%) 29年3月期第1四半期 121百万円 (△8.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	25.45	—
29年3月期第1四半期	26.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	14,585	10,087	69.2	1,732.32
29年3月期	15,026	10,016	66.7	1,720.08

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 10,087百万円 29年3月期 10,016百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,352	5.6	462	2.3	462	3.5	311	1.1	53.40
通期	23,504	3.7	1,254	3.0	1,254	3.8	842	2.1	144.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	7,262,020 株	29年3月期	7,262,020 株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	1,438,907 株	29年3月期	1,438,859 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	5,823,113 株	29年3月期1Q	5,823,161 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の不透明感が懸念されたものの、政府および日本銀行の継続的な経済対策や金融政策を背景として、雇用・所得環境は改善傾向が続き、緩やかな回復基調で推移しました。

このようななか当社は、ダイレクトメール、セールスプロモーション、イベントといった顧客企業にとっての手段を提供するだけでなく、それらを使って「ユーザーともっとよい関係を作りたい」、「より多くの商品・サービスをご利用いただきたい」といった顧客企業にとっての「売れる仕組みづくり」の支援を目指しております。

こうした方針のもと、リアルとWEB、販促と物流の好循環による新たな収益機会を作っていくための基本戦略として、「デジタル時代のDMへの対応強化」「顧客企業の売上を伸ばす物流事業の推進」「2020年に向けたSP・イベント分野の受注促進」に取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの当四半期連結累計期間の売上高は、57億28百万円（前年同期比5.7%増）となりました。営業利益は、2億円（同9.4%減）となりました。経常利益は、営業外収益が9百万円（同18.9%増）、営業外費用が6百万円（同22.1%減）となった結果、2億3百万円（同7.9%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用を66百万円としたことにより1億48百万円（同4.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①ダイレクトメール部門

既存顧客の取引窓口の拡大や物流サービスの新規受注を促進した結果、ダイレクトメールと通販物流の取扱いが伸び、売上高は既存先からの受注増や新規先の獲得によって、53億36百万円（同6.0%増）となりました。一方、セグメント利益は新規受注案件の一部で初期費用がかさんだことと前期後半に投入した設備の減価償却費の負担などにより2億92百万円（同3.4%減）となりました。

②セールスプロモーション部門

各種販促支援および企画制作業務に注力した結果、売上高は2億30百万円（同4.4%減）となりました。一方、セグメント利益は一部の既存販促支援業務等における業務効率向上の効果により36百万円（同5.7%増）となりました。

③イベント部門

販売促進・観光振興・スポーツイベントなどの運営・警備業務に注力した結果、売上高は1億39百万円（同14.0%増）、セグメント利益は726千円（前年同期セグメント損失1百万円）となりました。

④賃貸部門

千代田小川町クロスタビル（東京都千代田区）等の売上高は19百万円（同3.7%増）、セグメント利益は500千円（同29.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の状況

当四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて主に現金及び預金が2億25百万円、仕掛品が50百万円、繰延税金資産が27百万円それぞれ増加しましたが、売上債権が7億68百万円減少したことにより、全体として57億39百万円（前連結会計年度末比4億63百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて主に減価償却費の計上等で有形固定資産、無形固定資産および投資不動産が79百万円、建設仮勘定が76百万円それぞれ減少しましたが、土地が1億63百万円、保有株式の時価上昇などで投資有価証券が15百万円それぞれ増加したことにより、全体として88億46百万円（同22百万円増）となりました。

当四半期連結会計期間末の繰延資産は、社債発行費が431千円（同370千円減）となりました。

その結果、資産合計では、145億85百万円（同4億40百万円減）となりました。

②負債の状況

当四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて主に仕入債務が98百万円、賞与引当金が1億16百万円それぞれ増加しましたが、未払法人税等が1億32百万円、その他の流動負債が5億84百万円それぞれ減少したことにより、全体として40億32百万円(同5億17百万円減)となりました。

当四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて主に繰延税金負債が6百万円増加したことにより、全体として4億65百万円(同5百万円増)となりました。

その結果、負債合計では、44億98百万円(同5億12百万円減)となりました。

③純資産の状況

当四半期連結会計期間末の純資産は、主に利益剰余金では親会社株主に帰属する四半期純利益1億48百万円の計上と配当98百万円を支払ったことにより、差し引きで前連結会計年度末に比べて49百万円の増加となりました。そのほか、株式市場等の上昇を受けてその他有価証券評価差額金が20百万円(税効果分は除く)増加したことにより、全体として100億87百万円(同71百万円増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月10日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,440,742	1,666,522
受取手形及び売掛金	3,511,681	2,743,389
仕掛品	842,417	893,212
立替郵送料	101,521	101,378
繰延税金資産	99,388	126,829
その他	210,274	211,484
貸倒引当金	△3,778	△3,612
流動資産合計	6,202,246	5,739,205
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,346,434	2,308,709
機械装置及び運搬具(純額)	560,476	538,115
土地	3,621,496	3,785,089
リース資産(純額)	46,290	40,414
建設仮勘定	164,091	87,973
その他(純額)	92,267	83,637
有形固定資産合計	6,831,057	6,843,941
無形固定資産	55,164	55,177
投資その他の資産		
投資有価証券	625,071	640,911
投資不動産(純額)	866,664	861,896
その他	445,879	444,345
投資その他の資産合計	1,937,616	1,947,154
固定資産合計	8,823,838	8,846,273
繰延資産		
社債発行費	801	431
繰延資産合計	801	431
資産合計	15,026,887	14,585,910

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,758,486	1,856,681
1年内償還予定の社債	277,100	272,025
短期借入金	855,250	844,800
リース債務	32,242	31,619
未払法人税等	245,865	113,630
賞与引当金	211,480	328,267
その他	1,169,997	585,840
流動負債合計	4,550,422	4,032,863
固定負債		
リース債務	28,727	21,181
退職給付に係る負債	197,938	200,345
役員退職慰労引当金	55,010	56,085
繰延税金負債	117,123	123,270
再評価に係る繰延税金負債	18,327	18,327
その他	43,014	46,301
固定負債合計	460,141	465,511
負債合計	5,010,563	4,498,375
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,092,601	1,092,601
資本剰余金	1,468,215	1,468,215
利益剰余金	8,665,199	8,714,410
自己株式	△582,792	△582,842
株主資本合計	10,643,223	10,692,384
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	221,259	241,433
土地再評価差額金	△814,388	△814,388
退職給付に係る調整累計額	△33,771	△31,894
その他の包括利益累計額合計	△626,900	△604,849
純資産合計	10,016,323	10,087,534
負債純資産合計	15,026,887	14,585,910

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	5,421,108	5,728,335
売上原価	4,910,777	5,223,886
売上総利益	510,331	504,449
販売費及び一般管理費	289,013	303,980
営業利益	221,318	200,469
営業外収益		
受取利息	219	28
受取配当金	5,661	6,169
雑収入	2,317	3,548
営業外収益合計	8,197	9,745
営業外費用		
支払利息	7,811	6,320
その他	782	371
営業外費用合計	8,594	6,691
経常利益	220,922	203,523
特別利益		
固定資産売却益	—	789
投資有価証券売却益	—	21,080
特別利益合計	—	21,869
特別損失		
固定資産売却損	—	1,300
固定資産除却損	0	9,117
特別損失合計	0	10,418
税金等調整前四半期純利益	220,922	214,974
法人税、住民税及び事業税	93,804	95,719
法人税等調整額	△27,564	△28,949
法人税等合計	66,240	66,770
四半期純利益	154,682	148,204
親会社株主に帰属する四半期純利益	154,682	148,204

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	154,682	148,204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35,427	20,173
退職給付に係る調整額	1,956	1,877
その他の包括利益合計	△33,470	22,050
四半期包括利益	121,211	170,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	121,211	170,255
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモーション部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,033,981	241,352	122,240	18,330	5,415,904	5,204	5,421,108
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	30	30	96	126
計	5,033,981	241,352	122,240	18,360	5,415,934	5,301	5,421,235
セグメント利益又は損 失(△)	302,279	34,563	△1,297	4,103	339,649	3,158	342,807

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	339,649
「その他」の区分の利益	3,158
セグメント間取引消去	△126
全社費用(注)	△121,362
四半期連結損益計算書の営業利益	221,318

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモーション 部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,336,332	230,802	139,392	19,014	5,725,542	2,793	5,728,335
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	30	30	145	175
計	5,336,332	230,802	139,392	19,044	5,725,572	2,938	5,728,510
セグメント利益	292,101	36,534	726	5,311	334,673	791	335,465

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	334,673
「その他」の区分の利益	791
セグメント間取引消去	△175
全社費用(注)	△134,821
四半期連結損益計算書の営業利益	200,469

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。